



成 幼稚園発表会 成長した姿を披露

醸芳幼稚園発表会が12月14日から16日までの3日間、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、年少・年中・年長組に分かれて行われました。

園児らは、さまざまな衣装や被り物を身に着け、劇やダンス、楽器の演奏など、これまでの練習の成果を元気いっぱいに発表しました。先生のピアノに合わせて大声で歌う姿や、友達とタイミングを合わせ演技する姿など、日々成長している我が子の様子に、保護者からは温かい拍手が送られました。



1_「にゃー」とねこになりきり演技をする園児（年中組）2_一人だけの場面でも迫真の演技をみせる（年長組）3_みんなで覚えた手話を披露（年長組）4_音楽に合わせてカスタネットやタンバリンを演奏（年少組）5_縄跳びや跳び箱を堂々と披露（年長組）

税 小学校租税教室 金の大切さを実感

税金の大切さについて学ぶ租税教室が12月8日、伊達崎小学校で開かれました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生10人に税金の重要性を説明しました。

職員が「児童一人あたり年間約88万円の税金が使われています」と紹介。児童らは「学校で使う教科書など、こんなに身近で使われているんだ」「私たちの豊かな生活のために納税は大切だと実感した」「税金がなくなったら大変なことになることが分かった」などと思いを新たにしました。



▲「うわっ、重い…！」と約10kgある1億円のレプリカを持ち上げ、重さを体感

長 商工会優良従業員表彰式 年の勤労をたたえて

町商工会主催の第59回優良従業員等表彰式が11月22日、イコーゼで行われました。

式では、永年勤続表彰として、30年以上勤続者6人、20年以上勤続者5人、10年以上勤続者17人、5年以上勤続者9人の総勢37人に対し、町商工会長表彰および桑折ライオンズクラブ会長表彰が贈られました。町商工会渋谷浩一会長は「町商工業の原動力として尽力された皆さまに深く感謝し賞賛するとともに、今後も企業発展とより良い地域社会の形成に力を注いでほしい」と勤続者らをたたえました。



▲永年勤続表彰（30年以上）を受ける、株式会社下部工業所の奥山孝一さん



1_（左から）石本局長、齊藤さん、高橋町長、津田次男団長 2_表彰状の伝達を受ける齊藤さん

長年にわたり消防活動に尽力 「藍綬褒章」受章

令和4年秋の褒章で、「藍綬褒章」を受章された町消防団副団長の齊藤修さんの表彰伝達式が11月16日、役場で行われました。式では、県北地方振興局の石本仁局長から、表彰を伝達される、長年の活動に感謝の意を表されました。齊藤さんは、昭和63年に町消防団第3分団第1部に入団。その後、部長、分団長などを経

て、現在は副団長として、町民の生命・財産を守るべく、消防・防災活動に尽力しています。高橋町長は「消防団の統制を行い、団員の模範となる行動に敬意を表する。今後、地域防災力の中枢を担う消防団で、長年の経験を活かしながら活動を続けてほしい」とその功績をたたえました。

農業分野では8人目 地域おこし協力隊委嘱状交付式

町特産桃の産地維持・継承を目的に、桃農家を目指す地域おこし協力隊の委嘱状交付式が11月29日、役場で行われました。今回委嘱を受けたのは、新潟県新潟市から移住された小林真人さんと、小林さんは、南友祐さん（大畑）の元で、桃

などの栽培技術・農業経営について学びます。農業部門における地域おこし協力隊は8人となり、受入農家の元で研修を受けるとともに、地域振興に協力しながら、全国に誇れる極上の桃の生産者になることを目指して活動します。



▶「早く地域になじみ、立派な農家を目指す」と話す小林さん（右）

デジタルで情報収集 「初めてのタブレット教室」



▶LINEのビデオ通話を試す参加者

「初めてのタブレット教室」が10月11日と11月17日、イコーゼで行われ、のべ24人が参加しました。福島県中央計算センターの遠藤義広さんを講師に、タブレットの基本操作やLINEの使用など、防災情報の収集などを体験しました。

参加者からは「便利なアプリの使い方を学べた」などの感想が寄せられました。町は、「誰一人取り残さない デジタルを快適に活用できる社会の実現」を目指し、今後も、初心者向けの教室などを開催していきます。